

表紙・目次等

| | |
|-----|--|
| 権利 | Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp |
| 雑誌名 | 日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策 |
| 発行年 | 1992 |
| 出版者 | アジア経済研究所 |
| URL | http://hdl.handle.net/2344/00013376 |

日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策

山澤逸平・平田 章 編



10024867

日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策

山澤逸平・平田 章 編

アジア経済研究所

研究双書No422

山澤逸平・平田章編『日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策』

英文表題および目次

Title

Nihon Amerika Yōroppa no Kaihatsu-Kyōryoku-Seisaku

(Development Cooperation Policies of Japan, the United States, and Europe)

Edited by

Ippei YAMAZAWA

Akira HIRATA

Contents

Introduction

Part I Japan's Development Cooperation: Policy and Organization

Part II U.S. Development Policies

Part III The Development Cooperation Policy of the Federal Republic of Germany

Summary and Conclusion: Rationale for Aid, Aid Coordination, and Policy Coherence



[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 422]

Published by the Institute of Developing Economies, 1992

42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

やま ざわ いつ べい
 山澤逸平 (一橋大学)
 ひら た あきら
 平田章 (アジア経済研究所)
 こ はま ひろ ひさ
 小浜裕久 (静岡県立大学)
 てら にし じゅう ろう
 寺西重郎 (一橋大学)
 いま い けん いち
 今井健一 (アジア経済研究所)
 おかもと ゆ み こ
 岡本由美子 (アジア経済研究所)
 よこ た かず ひこ
 横田一彦 (アジア経済研究所)
 こ とう かず み
 後藤一美 (海外経済協力基金)
 やなぎ はら と おる
 柳原透 (法政大学)
 おく だ ひで のぶ
 奥田英信 (一橋大学)

Maurice J. Williams (ODC)

Jim Nelson Barnhart Jr. (ODC)

Burghard Claus (GDI)

Hans H. Lembke (GDI)

—執筆順—

日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策

研究双書422

1992年9月30日発行©

編者 山澤逸平・平田章

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04422-9 C3033



目 次

まえがき

| | |
|--------------------------------|---|
| 序 説 日本，アメリカ，ヨーロッパの開発協力政策 | 3 |
|--------------------------------|---|

第1部 日本の対発展途上国援助政策

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1章 日本の開発援助：政策と組織 | 15 |
| 第2章 日本の政府開発援助の展開 | 20 |
| 第1節 歴史的趨勢 | 21 |
| 第2節 日本のODAの時期区分 | 23 |
| 第3節 日本の援助目的と二国間ODA配分比率の決定 | 41 |
| 第4節 世論とODA | 46 |
| 第3章 援助対応を中心とした日本の国際運営の課題 | 54 |
| 第1節 国際国家としての日本の対応 | 55 |
| 第2節 対外援助の国際的動向 | 59 |
| 第3節 日本の対外援助の特徴 | 61 |
| 第4節 日本の援助行政の諸相 | 63 |
| 第5節 日本の対外援助のあり方 | 67 |
| 第6節 日本の援助対応の課題 | 68 |
| 第7節 対外援助と日本の社会システム | 71 |

| | |
|--|-----|
| 第4章 政策支援借款と日本の政策 | 75 |
| 第1節 政策支援借款開始の背景 | 75 |
| 第2節 構造調整についての考え方 | 79 |
| 第5章 日本型ツー・ステップ・ローン：世銀アプローチと 日本アプローチ | 85 |
| 第1節 本章の目的 | 85 |
| 第2節 OECFのTSLの実績とその特徴 | 86 |
| 第3節 日本型TSLに対する世銀の批判点 | 92 |
| 第4節 日本型開発戦略と日本型TSL | 94 |
| 第5節 日本型TSLの妥当性と実施方法の適切さ | 98 |
| 第6節 OECFのTSLの評価：ひとつの事例研究 | 101 |
| 第7節 覚書き：日本型TSLの実施基準について | 104 |
| 第6章 日本のODA政策と被援助国の経済発展 | 106 |
| 第1節 日本のODA政策の理念 | 106 |
| 第2節 長期的な経済発展に対する日本の見解 | 107 |
| 第3節 日本のODAと経済発展政策の関係 | 109 |
| 第4節 援助政策の背景 | 111 |
| 第5節 日本のODAに関する現在の問題 | 113 |
| 〔第1部参考文献〕 | 115 |

第2部 アメリカの対発展途上国援助政策

| | |
|--------------------------------|-----|
| 第1章 アメリカの対発展途上国援助政策：要約 | 123 |
| 第1節 手段としての経済援助：アメリカの世界戦略 | 123 |

| | | |
|-----|--|-----|
| 第2節 | アメリカ政府開発援助のプログラムと手段 | 125 |
| 第3節 | アメリカの対外援助の政策決定過程 | 127 |
| 第4節 | アメリカの援助目的の変化と改革への展望 | 128 |
| 第2章 | アメリカ援助の歴史的経験：7つの援助戦略モデル | 130 |
| 第1節 | マーシャルプラン | 130 |
| 第2節 | 発展途上国に対する技術協力 | 131 |
| 第3節 | ソ連封じ込めのための援助：相互安全保障同盟 | 132 |
| 第4節 | 第三世界近代化のためのビッグプッシュ援助：アメリカ 開発援助の黄金時代 | 134 |
| 第5節 | 政治目的達成の一手段としての援助 | 137 |
| 第6節 | 議会主導下でのBHN援助 | 139 |
| 第7節 | 冷戦体制下での援助 | 141 |
| 第3章 | 現在のアメリカの二国間援助プログラム | 144 |
| 第1節 | 外交目標 | 144 |
| 第2節 | アメリカ経済援助の主要構成要素 | 145 |
| 第3節 | 地理的援助配分 | 151 |
| 第4節 | 債務救済のためのODA | 152 |
| 第5節 | 行政 | 153 |
| 第6節 | 他のアメリカ援助機関 | 154 |
| 第7節 | 援助比較 | 156 |
| 第4章 | アメリカ外交政策の一環としての多国間援助 | 158 |
| 第1節 | 多国間援助の動機づけ | 158 |
| 第2節 | アメリカの多国間援助支持の最盛期 | 160 |
| 第3節 | 多国間援助からの撤退 | 162 |
| 第4節 | アメリカの援助政策と多国間開発銀行 | 165 |

| | | |
|-----|----------------------|-----|
| 第5節 | 多国間開発銀行の政治化の問題 | 167 |
| 第6節 | 多国間援助のコンディショナリティーの強化 | 169 |
| 第7節 | アメリカのIDAへの貢献 | 170 |
| 第5章 | 世論と特殊利害がアメリカ援助に与える影響 | 173 |
| 第1節 | 経済援助への一般市民の支持 | 173 |
| 第2節 | ODAに対する反対意見 | 174 |
| 第3節 | 国内のODA支持層 | 177 |
| 第4節 | 特定国・地域を対象にするロビー活動団体 | 183 |
| 第5節 | 終わりに | 184 |
| 第6章 | 援助政策の決定過程 | 185 |
| 第1節 | 複雑な政策決定過程 | 185 |
| 第2節 | 国務省の対外援助調整 | 186 |
| 第3節 | 財務省の対外援助調整 | 188 |
| 第4節 | 意思決定と調整におけるUSAIDの役割 | 189 |
| 第5節 | その他の経済的相互依存に関わる問題の調整 | 191 |
| 第6節 | 対外援助における議会の政策決定 | 191 |
| 第7章 | 援助政策の根拠の変化 | 198 |
| 第1節 | アメリカの援助目的とは何か | 198 |
| 第2節 | アメリカの援助レベルをどの程度にするのか | 202 |
| 第3節 | アメリカ援助の新たな根拠 | 203 |
| 第4節 | 援助の戦略的アプローチ | 205 |
| 第8章 | 将来の援助見通しに影響を与える要因 | 208 |
| 第1節 | 援助改革の見通し | 208 |
| 第2節 | アメリカの経済的利益の援助計画への統合化 | 209 |

| | | |
|-----|------------------------------|-----|
| 第3節 | 発展途上国との貿易と援助の結びつきの強化 | 210 |
| 第4節 | 安全保障上ないしは政治的援助の新たな実績基準 | 211 |
| 第5節 | 重要な世界的問題への焦点 | 212 |
| 第6節 | 援助条件へのアメリカの価値観の反映 | 213 |
| 第7節 | 徐々に低下するアメリカのODA | 214 |
| 第8節 | アメリカの政策目的に対する国際援助の影響力 | 215 |

| | |
|-----------------|-----|
| 〔第2部参考文献〕 | 219 |
|-----------------|-----|

第3部 ドイツの開発協力政策

| | | |
|-----|---|-----|
| 第1章 | 第三世界への関心と政策 | 225 |
| 第1節 | 関心と関係の焦点 | 225 |
| 第2節 | 援助政策の進化 | 228 |
| 第3節 | 数量的概要 | 232 |
| 第4節 | 狭義の援助政策を超えた協力：政策の一貫性？ | 234 |
| 第2章 | 世論，社会的団体，政府開発政策 | 237 |
| 第1節 | 世論からみた開発政策：広範な支持と知識の不足 | 237 |
| 第2節 | 関心をもつ読者に対する詳細な報道と大衆に対するス クープ：メディアの対応 | 238 |
| 第3節 | 開発政策に関する学界と政府の対話 | 240 |
| 第4節 | 開発政策における経営団体と労働組合の立場 | 241 |
| 第5節 | 政党と議会 | 243 |
| 第6節 | 非政府組織：第三世界の利益代表 | 247 |

| | |
|--|-----|
| 第3章 開発政策の概念 | 250 |
| 第1節 開発概念の中核部分と周辺部分 | 250 |
| 第2節 援助配分の方針：撒水タンクの終焉？ | 252 |
| 第4章 政策決定および実施機構 | 263 |
| 第1節 省レベルの政策決定：連邦経済協力省とその他の省 | 263 |
| 第2節 予算手続き：BMZと議会の折衝 | 267 |
| 第3節 州の開発政策 | 267 |
| 第4節 実施機構：多様性が細分化か | 269 |
| 第5節 パートナーの関与と分権化による効率改善：海外組織の拡大 | 277 |
| 第5章 二国間援助の形態と方式 | 280 |
| 第1節 計画と管理：国別援助の概念とプロジェクトの実施 | 280 |
| 第2節 二国間援助の方式 | 281 |
| 第3節 資金協力 | 284 |
| 第4節 技術協力 | 287 |
| 第5節 財界との協力：民間部門の促進と二国間援助の方策 | 290 |
| 第6章 多国間機関とのパートナーシップ | 296 |
| 第1節 多国間・多国籍開発協力 | 296 |
| 第2節 ドイツODAにおける多国間フローの意義 | 297 |
| 第3節 多国間協力におけるドイツ人職員、人事政策とコンセプト | 299 |
| 第4節 ドイツの多国間協力の焦点 | 302 |
| 第5節 1990年代前半のドイツ多国間開発協力 | 306 |
| 第7章 ECの開発協力政策と二国間援助のヨーロッパ化の 見通しに対するドイツの見解 | 309 |
| 第1節 EC開発援助政策とヨーロッパ各国の開発援助政策 | 309 |

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 第2節 ECの開発協力 | 310 |
| 第3節 最近のEC開発協力へのドイツの関与 | 315 |
| 第4節 共通開発政策のオプション | 316 |
| 第8章 ドイツ開発協力の見通し：変化する世界への対処 | 322 |
| 第1節 地球大の挑戦 | 322 |
| 第2節 ドイツ統一 | 324 |
| 第3節 東ヨーロッパの制度改革 | 326 |
| 第4節 ヨーロッパ共同体の統合強化 | 327 |
| 〔第3部参考文献〕 | 329 |
| 要約と結論 援助原理・援助協調・政策調整 | 331 |